

MLC320 現代中国語講読

3年 1,2クォーター

担当教員 永井 崇弘・田村 容子

授業形態 講義, 演習

単位数 2

曜日・時限 未定

授業概要

この授業は「中国語」Ⅰ～Ⅳでの学習内容を基礎に、中国語を「読む」能力の向上に重点を置いたものである。中華人民共和国を中心に、中国語圏の現代事情を扱った新聞・雑誌記事を演習形式で講読し、ディスカッションを行う。中国語の論説文を正確な日本語に翻訳する訓練をくり返すことで、より専門的な読解力や表現力を高める。この授業が養成目標とする中国語運用能力は、中国語検定試験（中検）4～3級、漢語水平考試（HSK）3級程度である。

到達目標

学生は、以下の点を目標とする。

- (1) 中国語による文章を、辞書を使って独力で読解する。
- (2) 中国語に関する基礎的な情報収集能力を身につけ、適切な表現方法について学ぶ。
- (3) 中国語を日本語に置き換える作業を通し、中国語文法の特徴について考察する。

先修科目

「中国語」Ⅰ～Ⅳ

教科書・参考資料等

教科書（予定）

三瀧 正道『論説体中国語 読解力養成講座』東方書店、2010

三瀧正道監修、岩本美佐子・西暢子・古屋順子・三瀧正道・吉田祥子『論説体中国語 読解練習帳 2015 〈初・中級編〉春 新聞・雑誌からインターネットまで』東方書店、2015

参考書（予定）

『中日辞典』（第3版）、講談社、2010ほか

授業の方法

この授業は演習形式で進める。

授業は担当教員による文法に関する講義、中国語読解・翻訳の練習、誤りの解説を繰り返す形式で行う。発音練習と合わせて、学生は90分間、中国語を反復して訓練する。

成績評価

ディスカッション：

この授業では、毎回の演習においてディスカッションを行う。ディスカッションの内容は、次の二点である。(1) 学生相互による中国語音読・翻訳のプレゼンテーション、(2) 学生相互によるコメント。

成績

45% ディスカッション

55% 試験

授業スケジュール

第1回： 授業概要、注意すべき多義語

授業の方法・成績評価、中国語について概要を説明。「不会」「不能」など、注意すべき多義語の文法を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第2回： 多機能語 (1)

前回の復習。「有关」「加上」など、多機能語の文法を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第3回：多機能語(2)

前回の復習。「就」「所有」など、多機能語の文法を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第4回：注意すべき類似表現(1)(2)

前回の復習。「有」と「有了」など、注意すべき類似表現の文法を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第5回：注意すべき類似表現(3)(4)

前回の復習。「需求」と「需要」など、注意すべき類似表現の文法を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第6回：注意すべき類似表現(5)

前回の復習。「人」と「人次」など、注意すべき類似表現の文法を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第7回：単語・語句の誤訳主要事例(1)

前回の復習。「一片」、「肯定」など、単語・語句の誤訳主要事例を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第8回：単語・語句の誤訳主要事例(2)

前回の復習。「部署」、「代表」など、単語・語句の誤訳主要事例を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第9回：「訳にもう一工夫」主要事例(1)

前回の復習。「居民」、「比重」など、「訳にもう一工夫」主要事例を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第10回：「訳にもう一工夫」主要事例(2)

前回の復習。「考察」、「未来」など、「訳にもう一工夫」主要事例を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第11回：「訳にもう一工夫」主要事例(3)

前回の復習。「治理」、「看好」など、「訳にもう一工夫」主要事例を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第12回：「訳にもう一工夫」主要事例(4)

前回の復習。「平台」、「既～也…」など、「訳にもう一工夫」主要事例を学習し、練習問題と翻訳の訓練を行う。

第13回：ステップ別 実践トレーニング講座 第二ステップ

前回の復習。1センテンス 40文字前後の文章の翻訳の訓練を行う。

第14回：ステップ別 実践トレーニング講座 第三ステップ

前回の復習。1センテンス 60文字前後の文章の翻訳の訓練を行う。

第15回：ステップ別 実践トレーニング講座 第四ステップ

前回の復習。1センテンス 80文字前後の文章の翻訳の訓練を行う。

事前・事後学習

- ・ 予習：教科書の該当する章を予習してくること(2時間程度)。
- ・ 復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること(1時間程度)。